

マーケットの動き（2025年6月16日～6月20日）

先週の米国株式市場は、前週末比でS&P500種株価指数は下落した一方、NYダウはほぼ横ばいとなりました。

週初は、イランの核協議再開への期待などから米国株は一時的に反発しました。その後は、中東情勢への米政府関与を巡る地政学的リスクの上昇や、FOMC（米国連邦公開市場委員会）の政策金利据え置き決定など、様々な要因が交錯し方向感に欠ける展開となりました。

欧州株式市場は、前週末比で下落しました。

投資環境見通し（2025年6月）

外国株式相場は、米国、欧州とも戻り一巡後の上値は重い

企業業績については、追加関税発動前の駆け込み需要の反動や長期金利高止まりの影響から下振れが懸念されています。米国株式相場は、関税政策に対する過度の悲観的な見方が一旦後退し、戻り歩調となっているものの、今後は駆け込み需要の反動や長期金利高止まりの景気に対する影響を見極めつつ、上値は重くなるとみています。

欧州株式相場は、ECB（欧州中央銀行）が利下げ姿勢を続けるとみられますが、米国関税政策の影響から景気減速が懸念される中、上値は重くなるとみています。

	6月20日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	5,967.84	▲0.15%	0.46%	0.62%	9.04%
NYダウ	42,206.82	0.02%	▲1.10%	▲1.48%	7.85%

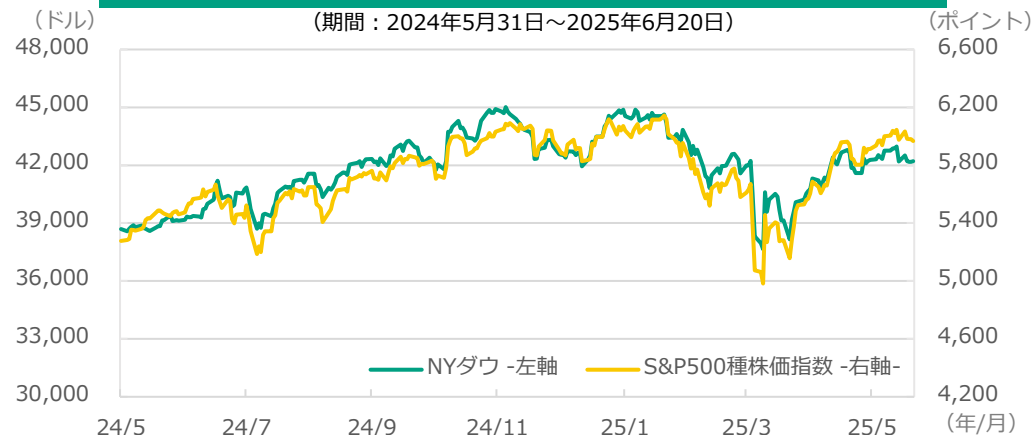
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

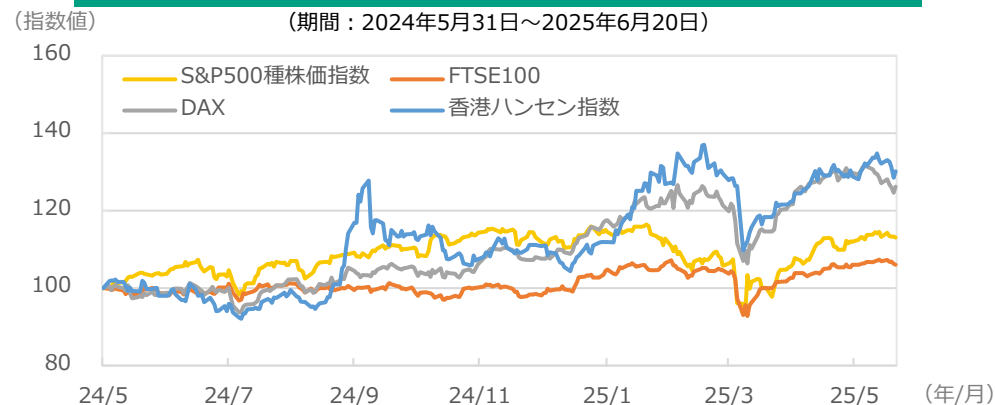
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202506_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2024年5月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成